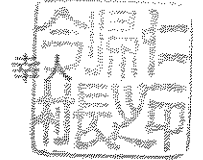




今建第 59 号
平成 19 年 4 月 27 日

国土交通省道路局長殿

今掃仁村長 與那嶺



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

平成 19 年 4 月 2 日付国道企第 114 号で依頼のあったみだしのことについて別紙のとおり提出致します。

中期計画作成にあたっての意見（今帰仁村）

○ 重点化を進めるうえで特に優先度の高い政策

1) 拠点までのアクセス向上、連結強化

- ・本村から空港や港湾等中南部へのアクセスを考えた場合、本村から沖縄自動車道の許田 IC に至るまでに時間がかかりすぎるため、本村の観光振興や地域活性化を図るためには白金橋交差点等名護市内の渋滞箇所を改善する必要がある。
- ・又、名護本部線と名護運天港線の交差箇所と国道 58 号線（白金橋付近）の間は最近渋滞がひどく、本村から中南部にアクセスするにあたって多大な時間を要している状況にある。交差点から名護向けについては 4 車線化を検討すべきである。
- ・地域連帯を強化する観点から高速道路を利用しやすくするために IC を増やす必要がある。名護市内の交通渋滞の解消のため、また中南部へのアクセスへの改善のため、為又あたりまで高速道を延長して IC を設置する必要がある。
- ・古宇利大橋やワルミ架橋の供用により古宇利島の離島苦は改善されたが、今後古宇利島は本村の観光拠点としてポテンシャルが高まることが想定されることからワルミ架橋付近に駐車場や、トイレ、展望塔、地域の特産品等の販売のできる施設を設置する等地域振興、観光支援のためのネットワークの強化とともに地域支援施設を設置する必要がある。

○ 効率化を徹底的に進めるうえで重視すべきこと

1) 既存道路の有効利用

- ・国道 505 号のグレードアップをすることにより、名護東道路と連帯した空港、港湾等の拠点へのアクセス向上させ本村の地域振興を図るべきである。
- ・主要道路の左折や右折帯の整備を図る必要がある。

○ その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

- (ア) 観光支援の観点から植栽を充実する必要があるが、本村の場合地元で植栽を管理したいという要望が強いため、既存の道路に植栽スペースを設けていただきたい。（特に国道 505 号線）。
- (イ) 道路事業の採択基準に該当しなくても必要な道路というのはあるので、基準については本当に必要な道路が採択されるよう緩和あるいは見直す必要がある。（特に住民生活に密着した生活道路）。